

令和8年度 江戸川区立清新第一小学校 特別活動全体計画

校長名 金木 圭一

学校の教育目標	・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・最後までやりぬく子 ・体をきたえる子
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す児童像	集団の中で、互いのよさを認めることができ、話し合い、協力できる児童
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさを認め、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画して、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、よりよい学校づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の所属感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
指導の方針	○楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を築くべく、低学年では仲良く助け合うこととする人間関係、中学年では協力し合うこととする人間関係、高学年では信頼し支え合うこととする人間関係の育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校の生活づくり」に参画できるような自主的、自治的な態度を育成する。	たてわり班活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く、協力し、信頼し支え合うこととする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合うこととする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を達成することができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理ウ学校における多様な集団の生活の向上(話し合い、係・当番、集会) (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全 (3) いじめ未然防止について考える。	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画と運営(計画、集会、図書、理科、給食、健康、運動、環境、放送、栽培) (2) 異学年集団による交流(1年生を迎える会、6年生を送る会、縦割り班活動など)(学年間の思いやりの心を育てる) (3) 学校行事への協力	学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢交流を深め、共通の興味・関心を目指す活動を行うこと。 (1) クラブの計画と運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果と発表(ハンドラケットベース、バスケットボール、ミニサッカー、バドミントン、卓球、科学、プログラミング、家庭科、レクリエーション、音楽、パフォーマンス、園工)	全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。 (1) 儀式的行事(入学式、卒業式、始業式、終業式、離任式) (2) 文化的行事(学習発表会、芸術鑑賞教室) (3) 健康安全・体育的行事(運動会、健康診断) (4) 遠足・集団宿泊的行事(移動教室、たてわり班活動) (5) 勤労生産・奉仕的行事(清掃)
各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉の的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習と関連を図って指導する。	各教科等で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科等の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童が自己の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになるとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事 学校や地域の事業について学習したことを基に、学校や地域の一端としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事 国語や音楽、園工などでの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事 体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事 社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公民道徳などについての望ましい体験を促す。 ○勤労生産・奉仕的行事 生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
	他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。全学年共通していじめの未然防止の指導を行う。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をする。上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。
外国語・外国語活動	外国語活動・外国語で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国語活動・外国語で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動・外国語で身に付けた外国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重し、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学校の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりや考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動においては、「家庭や地域の人々との連携するなどの工夫」が大切である。児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得る。	児童の興味・関心を基本としながら、外部講師を活用したりするなど、児童の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				